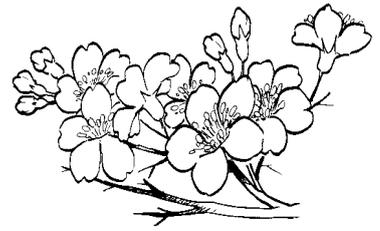


進路だより



2025年4月25日
第4号

◇第1回進路希望調査ありがとうございました◇

生徒の皆さん、そして保護者の皆様、第1回進路希望調査への御協力ありがとうございました。今回の進路だよりは、保護者の皆様から寄せられた御質問にお答えしたいと思います。生徒の皆さんが疑問に思っていることと、重なるところがあるかもしれません。ここに取り上げた質問は一部です。紙面の都合もあり、全ての質問にお答えできておりません。何かありましたら、担任の先生を通じて御連絡ください。また、個人的な質問は直接お答えしますので、御了承ください。

・「高校見学の際に、見ておくべきチェックポイントなどあれば、教えていただきたいです。」
⇒高校ごとに、教育方針やカリキュラムの特徴は異なります。ぜひ、高校見学の際は教育方針やカリキュラムの説明をよく聞いていただきたいです。設備面や進路先、在校生の雰囲気も気になるかもしれません。何を大事に考えるかで、チェックポイントは変わってくるかと思えます。御家庭で「これは譲れない!」と大事に思うポイントを考えてみるのも良いと思えます。

・「毎年、何名くらいの生徒が〇〇高校に受験するのでしょうか? また、合格率は?」
⇒個人情報に関わることの公表は難しいです。どうか御理解ください。

・「〇〇高校について知りたいです。」
⇒各校のホームページや、6月に配付予定の「進路のしおり」を始め、各種資料をお読みください。また、ぜひ高校の見学会・説明会・(公開されていれば)学校祭などにも、実際に足を運んでいただきたいです。他人がどう思うかよりも、保護者の方やお子さん本人がどう感じるかが、大事だと思います。

・「頑張ればどの程度までの学校を目指せるか、知りたいです。」
⇒例えば、今よりもひとつ上のランクを目指すためには、何教科の成績を上げる必要があるでしょうか。成績のランクが高いほど、当日取る必要がある点数は低くなります。ランクの計算方法は、次の進路だよりで詳しくお知らせする予定です。同じランクでも、上のランクに近いか、下のランクに近いかでも違います。まずは、お子さんの現状を確認してほしいです。

・「進路の最終決定の時期は、いつですか?」
⇒基本的には、11月中旬の「第5回進路希望調査」で最終決定をしていただき、12月の三者懇談で最後の「意思確認」をする流れになります。進路希望調査は全部で5回ありますので、進路希望調査の度にぜひ保護者の方とお子さんが話し合い、お互いの意思疎通を図っていただきたいです。

・「学校説明会や学校祭の日程を知りたいです。」
⇒高校からお知らせが来次第、高校からのチラシや(場合によっては)進路だよりなどで、お知らせします。学校を通さずに、個人で申し込みするものが増えてきていますので、ぜひお子さんが持ち帰る配付物に御注目ください。また、高校によってはホームページから申し込むものもありますので、興味がおありの学校についてはホームページのチェックもお願いいたします。

・「各高校の卒業後の進路や、学校の様子、受験や入学の費用などを知りたいです。」
⇒ぜひ、学校説明会に参加してください。また、その高校のホームページをご覧ください、資料が取り寄せられるものは資料請求してください。「進路のしおり」も読んでいただきたいと思います。

・「〇〇高校は何クラス予定ですか？」
⇒公立高校では基本的に、前年度定員割れしていない高校は、例年通りの募集になるかと思われますが、正式な数は教育委員会からまだ発表されていません。私立高校では公式発表がありませんが、募集要項などに募集人数が記載される予定です。

・「単願・専願・推薦の違いがよくわかりません。」
⇒その学校だけを受けるのが、単願。他を受験してもよいですが、受ければ必ず入学するのが専願。推薦は自己推薦と校長推薦があります。道内の公立高校と高専は、自己推薦になっています。

・「学力ABCのテスト以外に、任意の模擬テストを受けるべきでしょうか？」
⇒御家庭の考え方によると思います。受けるものが多い分、予習復習の負担も大きくなりますが、それをバネに奮起できるならば良い刺激になるかもしれません。また、業者の模擬テストでは順位等が明確になるので、自分の位置を明確にしたい人には良いかもしれません。ただし、あちこち手をつけることで、プレッシャーになるようならば、逆効果になるかもしれません。保護者の方とお子さんと、よく御相談ください。

・「受験までの流れがよくわかりません。」
⇒どの学校をどのような時期に受けるかによって、お答えすべきことは変わってくるのではないのでしょうか。進路だよりや進路説明会でも御説明していきますので、まずはどのような進路を目指すのかをお子さんと話し合ってくださいと思います。

・「現在の学校が昔とどのくらい違っているのか。どのようなことが大切で必要となってくるのか。」
⇒高校の求める成績が大きく変化している高校もあります。また、コースが新設されたり、また古いコースが廃止されたりもあります。ぜひ希望する学校の学校説明会に足を運んでください。「百聞は一見に如かず」と申します。実際に目にすることでしか、感じられないこともあると思います。今の新しい情報を、常に追い求める姿勢も大切なのではないかと思います。

・「高校の選び方がわかりません。」
⇒お子さんが将来目指しているのは、どのようなものでしょうか。高校の先を見据えた進路選択をしていただきたいと思います。また、お子さんが得意とすることは、反対に苦手とすることはどのようなことでしょうか。お子さんが毎日通う学校です。遠いのか近いのか、カリキュラムの特性はどのようなのか、諸費用はどのくらいかかるのでしょうか。いろいろな観点から、お子さんに適した高校を選んでほしいです。

・「高校無償化が決まって、各高校の動きの変化はあったのか。」
⇒まだ、中学校の方には情報が来ていません。各高校からの情報が入り次第、お知らせしていきたいです。

・「欠席日数が心配です。」
⇒一般的に欠席日数は各学年7日以上では多いと思われます。高校には欠席日数が多い場合、欠席した理由をお知らせする書類を送ります。正当な理由のある欠席については、例えば、入院であったり持病があったりする場合は、高校側も配慮してくれることが多いです。ただし、学校によっては、「受験資格」の中に欠席日数が書かれている高校もあります。逆に通信制の高校では、欠席日数を気にしないことが多いです。まずは、希望する学校の情報を入手していただきたいと思います。